

Google スプレッドシート 児童の振り返りを見る化

子供たちが主体的に学習を調整するためには、単に子供に任せのではなく、一人一人の子供が自ら学びに向かおうとしているか、様々な学習の方法を自ら使えるように身に付けているか、その学びを意味付け・価値付けできる振り返りの場を用意しているかなどの視点に立って、教師が学習環境を適切に整えていくことが大切です。

👉〈引用〉文部科学省：「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」のためのサポートマガジン『みるみる』P13

3つのテンプレート紹介

① シンプル振り返りシート

- 初心者でも安心
- 項目：氏名／感想／学び方の振り返り／文字数カウント／教師FB欄
- 活用場面：日々の授業の振り返り／学校全体の共通様式導入

A	B	C	D	E	F	G	H	I
出席番号	名前	ふりかえり めあて	ふりかえり① わかったことは？	文字数①	ふりかえり② 自分の学び方のよかつたことは？	文字数②	先生から	
1				40		40		
3				0		0		

←① まずはここから！

フィードバック

② キーワード色付けシート

- 子供の入力に応じて、教師設定キーワードに自動で色付け
- 色で思考の傾向や理解度が一目でわかる
- Google Apps Script 認証で動作
- 活用場面：学級全体の学びの傾向把握 ←②③ 山梨大学 三井先生ご提供



③ 学びのデザインシート

- 教師と子供が“学びの見通し・進行状況”をクラウドで共有
- 入力は自動でダッシュボード集約
- 活用場面：授業前の見通しづくり／協働学習のペア決定

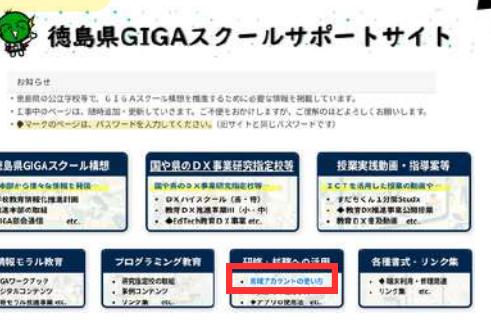
具体的な使い方やダウンロードはこちらから

徳島県GIGAスクールサポートサイト

→県域アカウントの使い方

→Googleスプレッドシート

👉<https://gigaportal.tokushima-ed.jp/google-account-guide-sheets>



活用した先生方のコメント

単元を通して、振り返りを1枚のシートに記録・蓄積できるようにしたことで、学習の流れが一目で見えるようになりました。

振り返りの視点や評価の基準を明示することで、子供自身が何を意識して書けばよいかを理解しやすくなりました。

スプレッドシート上で共有することで、友達の振り返りを参照し合い、新たな気付きを得る姿が見られました。

子供の記述に対して教師が即時にフィードバックを行うことで、学びへの意欲や次の活動への前向きな姿勢が高まりました。



生成AI (Gemini) で作成

振り返りシートを活用することで、
「どう学んだか」「なぜそう思うか」
「次はどうするか」——こうした問いを、
子供たち自身が語り出すようになります。
ちょっと試してみませんか？

